

オッズパーク杯

FII

6/6月 7火 8水

GIRL'S
KEIRIN

競輪
川崎

川崎スポーツ



レース展望

6月6日からの川崎競輪はオッズパーク杯として開催されるF2ナイター。ガールズケイリンを含めた12レース制で行われる。今期も残り一か月をきる終盤戦に入り白熱したレースも期待できそう。

1、2班戦の優勝候補筆頭は長田龍拳(静岡117期)。積極的かつ豪快な走りでは他地区を圧倒するだろう。地元からは来期S級に復帰する大西健士(神奈川88期)や衰え知らずのベテラン三住博昭(神奈川61期)らが参加。長田のダッシュに対応できれば優勝のチャンスは十分にある。関東勢は予選から力を付け

ている橋本壮史(茨城119期)が勝ち上がり山信田学(埼玉83期)や西村行貴(東京92期)らのキメ脚が生きてくる。原田泰志(新潟91期)は鋭いまくりもあり、自分で戦っても頭を狙えそう。北日本勢はやや戦力不足で苦戦を強いられそう。遠征勢は中川繁樹(京都93期)やベテラン永井清史(岐阜88期)らの機動力が頼みとなるが層は薄い。展開が向けば玉手翔(兵庫91期)の差し脚が鋭く伸びてきそう。

チャレンジ戦は地元ホームの金田涼馬(神奈川119期)の機動力に期待したい。他地区

のライバルとしては、調子上向きの伊藤之人(東京90期)の自在脚や、溝口葵(三重117期)と高谷進太郎(三重85期)の三重コンビあたりが強力だが、金田が力で応戦してのVが有力。

ガールズケイリンは現在賞金ランキング上位の尾崎睦(神奈川108期)と小林莉子(東京102期)の二人が中心。年末のガールズグランプリ出場に向けて、大きな影響を与える可能性もある一戦だ。他には石井貴子(東京104期)の先行力や高橋梨香(埼玉106期)の自在脚は軽視できない。

A級
主力選手



長田龍拳 静岡117期

117期ナンバーワンの長田龍拳が登場。アマチュア時代の輝かしい実績や、養成所時代の好成績を考えればやや遅めの出世にも感じるが、来期からはS級に上がる。今期のA級戦は1月早々からの失格で苦戦かと思われたが、失格点を差し引いてもS昇級へのボーダーラインを上回る好成績を残している。デビュー当初は組み立てに難があり、強引に駆けても末を欠いてしまうなど、なかなか馴染めず勝ち損ねてしまうレースが目立った。しかし、レースを重ねるにつれて高い機動力が発揮されるようになり、今期は既に5V、直近4か月の勝率は7割を超える。抜群のダッシュ力から繰り出す豪快なカマシに注目したい。

A級
主力選手



三住博昭 神奈川61期

地元ホームバンクのベテラン、三住博昭に注目したい。現在53歳となる三住だが、来期はS級に復帰する。今期のA級戦は優勝こそ無いものの、既に13勝を挙げており、直近四か月の差しの決まり手は14。スピードやダッシュがものを言う7車立ての競輪で、ベテランの追い込み選手がこれだけの数字を出すのは日々の努力の賜物だろう。この地元戦について聞くと「まあ、川崎は庭みたいなのだからね。そりゃ頑張るけど、点数持っている大西君が居るから俺は気楽なもの」と話していたが、熟知する地元バンクで今の差し脚のキレなら、三住が突き抜けるシーンも想像できる。連日頭から狙いたくなる選手だ。

A級
主力選手



橋本壮史 茨城119期

デビューして間もなく一年が経とうとしている橋本壮史が一気にレベルアップしてきた印象。昨年末に特昇班を決めて、今年4月の岸和田では初優勝を果たした。その後も5月平塚を除いて全て決勝に駒を進めており、着実に力を付けている。本人は「たまたまですよ。でも、慣れて練習の成果も出るようにはなってきました」と謙虚に語る。まだまだ長い距離を踏んだ時の末の甘さは感じるが、自分のタイミングで仕掛けられた時のカマシやまくりの威力は相当。川崎の印象について聞くと、「あまり成績良くないかな。今回結果を出せれば、昇班直後に当地を走っているが、当時よりも確実に強くなっている印象。」

A級
注目選手

金田涼馬 神奈川119期

地元期待の新鋭金田涼馬はいつ特昇班してもおかしくない実力を持っているが、なかなか9連勝を果たせずに間もなくデビューから一年が経つ。しかし、先を見据えて先行基本にラインで決めることを重視しすぎるがゆえとも思える。ダッシュ力が持ち味の金田なら、自分だけ届け走りをしていればもっと成績はまとまるはず。「ラインで決めるレースをしたい」とこだわり続けているぶん走り方にも制限が出てくる。師匠は南関を代表するマーク屋内藤秀久(神奈川89期)。先行力に磨きをかけ師匠を背に駆けられるステージを目指していきたいところ。

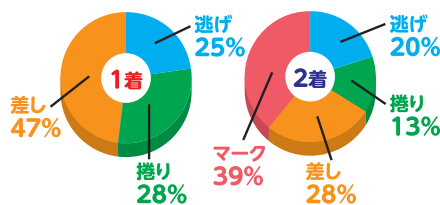
ガールズ
注目選手

尾崎睦 神奈川108期

今年年末のガールズグランプリは平塚競輪場で開催される。この一戦への出場を誰よりも強く願っているのは平塚をホームバンクにする尾崎睦だろう。この三年は惜しいところでGP出場を逃してきたが、今年は賞金ランキング5位(5月29日現在)につけて、十分な射程圏内。まだまだ先は長い、僅かな賞金の差で明暗が分かれる事は、尾崎が一番痛感しているだろうし、積み重ねがモノを言う。やや忙しい日程のなかでもきっちりと結果を出してくれるはず。今シーズンは賞金で尾崎の上をいく小林莉子(東京102期)も参加しているのでVで決めたいところ。

川崎競輪場バンクガイド

直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースで外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中
毎日
OA!

YouTube

ニコニコ放送
NICO NICO LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル

長田龍拳擁する南関ライン中心